



わくわく
新年度!



大井町 議会だより

第1回定例会 P 2
 令和6年度「大型予算案」を可決
 一般質問 ここが聞きたい P11
 8人が町政を問う！
 議会活動報告 P15
 足柄上郡町村議長会議員研修会ほか

町のこの人あの人 P16

多くの方に
 選挙に行ってもらいたく出演

馬場地区

かとう みゆう
 加藤 美優 さん

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp

URL <https://town.oi.kanagawa.jp/site/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

令和6年度当初予算

一般会計	63億5,000万円
国民健康保険特別会計	15億円
後期高齢者医療特別会計	3億2,600万円
介護保険特別会計	14億1,100万円
水道事業会計	4億7,200万円
公共下水道事業会計	6億6,100万円
合計	107億2,000万円

会議内容	一般質問	条例	補正予算	人事	当初予算
8人	8件	18件	8件	3件	6件
ほか					

第1回定例会
3月5日～18日

令和6年度予算を可決
総額107億円の
大型予算でスタート

トピック

- 小中学校給食費半額補助
- 第1分団待機宿舎建替え
- 生涯学習センター外壁改修
- おおいゆめバス運行拡大

令和6年度第1回定例会の初日は、町長から施政方針が示され、つなごう！大井未来計画の着実な推進「今後の発展を見据えた」施策・事業の展開

の5つの視点に重点を置いた予算編成の考え方と事業の概要が述べられました。提案された一般会計をはじめとする6会計の当初予算案は、11日に本会議での質疑を行い、13日・14日の2日間、「予算審査特別委員会」を設置し、さらに詳細な審査を行いました。

最終日の18日には、それら6会計の当初予算案や補正予算案の採決などを行い閉会しました。また、本定例会では、当初予算案をはじめ条例、補正予算、人事など合計44件という多くの議案等が提出され、慎重なる審議の結果、条例案1件を否決し、その他は同意又は可決しました。

予算審査ダイジェスト

施政方針

問 小中学校給食費の半額補助の金額は。
答 令和6年度から、小学生5000円、中

学生5400円の半額を補助する。
問 幼稚園が対象外の理由は。
答 私学に通うお子さんもいるので今回は見

合わせたが、物価高騰分に関しては引き続き町で補助し値上げはしない。
問 「安心・子育て・新たな暮らしを未来につなぐ」とは。
答 ありがとうの町づくりを根底に安全、安心で子育てしやすいまちづくりを進めていく。

問 町民との協働について強いアピールが必要では。
答 協働といっても簡単なことではない。一つひとつを推進していく。
問 町として法人税を増やすという観点から企業誘致の考えは。

問 町に有益な情報があればトップセールスを行っていききたい。
答 財政の安定とは。財源の確保、事業費の更なる精査と検討等、入ってくるものは厳しい時代にあたって危機感を持ってあたっていく。
問 空き家実態調査委託とは。

問 中小企業の小口融資預託金導入の経緯は。
答 景気が安定し新たな設備投資等のニーズが上がってきたため。
問 電気自動車補助金を拡充した理由は。
答 地球温暖化対策として、近隣の状況を鑑み拡充した。

一般会計

組織管理

問 入退室管理システムの保守委託料と使用料の内容は。
答 保守点検と、システムのバージョンアップと作業費である。令和7年度には勤怠管理システムを新たに導入したいので、令和6年度のみ予算である。

問 勤怠管理システム導入によって、業務の負担軽減になるのか。
答 超過勤務手当の管理等は、かなり効率的になる。
問 町長車の更新費用706万円の理由は。
答 購入から13年経ち、走行距離16万キロで不具合が出てきたため。

問 環境性能も鑑みて選んだのか。
答 現車両と同様に、ハイブリッド車にする予定である。
問 行政運営
問 法人数は20社以上増えているが、法人税額を減額しているのはなぜか。
答 法人1社が転出したことによる。法人数は増えているが小規模な法人が多いので、結果として減額とした。

問 ふるさと納税が確定するのは3月なので予算書に反映することは考えていない。
問 まちづくり推進事業費の、建築物調査業務委託料の内容は。
答 上大井駅舎の改築が予定されており、町として利活用の可能性を見出すため、耐震性の診断等を行う調査費用である。

問 空き家実態調査委託とは。
答 しっかりと状況を把握したうえで、調査後に所有者の意向も確認し、空き家バンクの登録や移住につなげた。
問 おおいゆめバスの運行に水曜日を追加した理由は。
答 アンケート結果を考慮して、医療機関の休診日以外は運行することとした。



上大井駅舎の今後は？

問 新年度は、ふるさと劇団委託料が入っていない。町民をまきこんだ協働のイベントだったが、なぜやめたのか。

答 令和6年度はいったん休止して、未病イベントを行う予定である。

健康・福祉

問 児童コミュニティクラブ保育料の減免要件の見直しは。

答 現段階では考えていないが、声があれば検討していく。

問 保育所保育料を減額計上した理由は。

答 保護者の所得状況を勘案した。

問 不妊治療（先進医療分）助成金の内容は。

答 1人分で、保険適用外の治療70万円の1/2補助である。

問 带状疱疹ワクチンの補助について内訳は。

答 ビケンワクチン2000円×35人分、シングリックスワクチン1万6000円（8000円×2回）×140人分で、対象は50歳以上となる。

社会基盤・安全対策

問 指定井戸の水質検査の実施状況は。

答 毎年、計30か所ほど行っている。本町の指定井戸は61か所あることから一つの井戸に対しては2年に1回となる。

問 防犯カメラ交換での新機種の詳細は。

答 AI機能を搭載し人の輪郭や車のナンバー等が検知できる機種を導入する。

問 カーブミラーの修繕箇所は。

答 727本のうち約150本が昭和に建てられたもの。その中で老朽化している5本を更新する。

問 災害時に向けた哺乳瓶の備蓄状況は。

答 使い捨ての哺乳瓶を1600本備蓄している。

問 ここにこパトロール隊の腕章の予定数と配付時期は。

答 130枚を予定。7月頃を目途に配付したい。

問 道路の白線の引き直しは、どのように進めているのか。

答 補修は計画的に実施している。また、緊急性のある箇所は、速やかに対応している。

戸籍・協働

問 令和6年度におけるマイナンバーカード交付率の状況と目標は。

答 2月末時点で、交付率76・8%、保有率は74・1%である。令和6年度は両方とも80%を目指す。

問 紙の保険証が廃止されることに伴う対応は。

答 窓口対応等により、マイナ保険証の登録率の向上を進める。

問 男女共同参画社会推進委員の男女構成比は。

答 割合は、男女いずれかが、4割を超えることとなっており、現状は男性が3人、女性が2人となっている。

生活・経済

問 農林水産費全体で3400万円程が減額されているが。

答 人件費等で、主に地域資源林整備事業の減額による。

問 ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス等導入費補助の内訳は。

答 新築でゼッチ導入補助15万円×3件、断熱リフォーム8万円×5件で積算した。

問 ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス等導入費補助の内訳は。

答 新築でゼッチ導入補助15万円×3件、断熱リフォーム8万円×5件で積算した。

問 地球温暖化対策事業費が大きく増額されているが、町の考えは。

答 各種補助制度を多くの方に利用していただき、地球温暖化対策実行計画を推進していく。

問 お試しジビエ購入費について、ジビエの購入場所と活用方法は。

答 令和5年度から営業が始まった足柄ジビエ

工工房で購入する。なお、地元の飲食店などで試行的にメニューを開発してもらう。

問 里山花まつり補助金の増額理由は。

答 来場者数が年々増えている。現状の四季の里まつり実行委員会だけでは運営が厳しいことから、町として、しっかりと単体の催事に位置づけたいため。

問 シェアハウスのターゲット事業の目的は。

答 空き家を活用し、農業の担い手の確保と移住、定住の促進を図る。

問 生ごみ処理機購入費補助金の詳細は。

答 補助率1/2で3万円を上限に補助する。種類は乾燥、バイオ化どちらでも対象とする。

問 お試しジビエ購入費について、ジビエの購入場所と活用方法は。

答 令和5年度から営業が始まった足柄ジビエ

第1回定例会

教育・文化

問 新規計上のイベント用AEDは一般貸出しは可能か。

答 主に、町のスポーツイベントでの利用を想定しているため一般に貸し出すことは考えていない。

問 プライバシー保護のため付属品として三角巾も併せて配備することが望ましいと思うが。

答 消耗品から支出して配備する。

問 産業医報償費を新たに計上した目的は。

答 教育現場における安全衛生管理体制の強化である。

問 山田総合グラウンドにおけるテニスコート改修工事の時期と工期は。

答 利用状況を勘案しながら早期に実施し、工期は2週間程度を見込んでいる。

問 書道紙リサイクル委託料の目的は。

答 SDGsの取組みと保護者負担軽減を目的に町が負担する。



改修予定のテニスコート

特別会計・企業会計

国民健康保険

問 特定健康診査未受診者対策事業委託料はAIを活用して3年目になるが、受診率の目標は。

答 国の目標値は60%だが、町としては令和11年度に42%を目指している。

問 予算編成過程を踏まえて、令和7年度以降の見通しはどう捉えているか。

答 令和6年度予算においても樂觀できない財政状況であり、今後と同様と考える。

問 産前産後期間の保険税免除は、年度がまたがった場合でも対応されるのか。

答 それぞれの年度の保険税から対象となる期間相当分の保険税を軽減する。

後期高齢者医療

問 被保険者の負担割合に係る前年度比は。

答 1割負担と3割負担は増加しているが、2割負担は減少している。

問 令和6年度の保険料率は。

答 均等割りは4万5900円、前年度比2800円の増額。所得割率は10・08%で、前年度比1・3%増である。

介護保険

問 介護予防・高齢者補聴器購入費補助金の目的は。

答 介護予防・重度化

防止として社会参加を進めるため、また認知症の発症予防として実施する。

問 介護保険料を決める基準は。

答 令和6年度から8年度までのサービス料から算定している。

問 準備基金繰入金金の減額の理由は。

答 給付実績等を勘案し減額した。

水道事業

問 営業収益において給水戸数が前年度より増加しているが、収益を減額しているのは。

答 令和5年度における給水量の見込みが減少しているためである。

問 水道管の耐震化率と今後の対応は。

答 耐震管は10キ口弱

で、耐震化率は9・4%である。財政状況等を勘案しながら、取り組んでいく。

公共下水道事業

問 中溝汚水枝線管渠更生工事に係る新たな工法のメリットは。

答 掘削せずに出来るため工期も短く安価である。また、地上の通行も可能となる。

問 下水道管の耐震化率と今後の対応は。

答 可とう性継手の採用により、耐震化率は62%となる。幹線管渠から対応していく。

問 約1億3000万円の一般会計の補助を受けているが、料金改定は必要か。

答 独立採算が原則であるため、値上げは必要と考える。

令和6年度予算審査に際しては、本会議の審議において、議長発議により特別委員会が設置されました。企画経済・教育福祉常任委員会よりそれぞれ4人を選出し、合計8人の委員会が組織され、3月13日・14日の2日間にわたり詳細な審査を行いました。また、今回の審査においては、昨年につき、付託された全会計を一括し、施策を「組織管理」「行政運営」「戸籍・協働」「健康福祉」「生活・経済」「社会基盤・安全対策」「教育・文化」の7部門に分けて審査を行いました。

委員長 鈴木 磯美
副委員長 牧野 一仁
委員 伊藤奈穂子
委員 清水 亜樹
委員 田中 正彦
委員 岡田 幸二
委員 山崎 真弘
委員 黒岩陣太郎



審査結果

委員会での審査の結果、議案第31号令和6年度一般会計予算については、敬老祝金に対して、また、議案第34号令和6年度介護保険特別会計予算については介護予防・高齢者補聴器購入費補助金に対して、それぞれ適正な事業執行を求めるため、委員会の意思表示としての付帯決議を付したうえで、原案のとおり可決すべきものとなりました。

議員討論

令和6年度一般会計予算については、本会議で大石舞議員の反対討論、黒岩陣太郎議員、田中正彦議員の賛成討論がありました。ここでは、2名の討論を掲載します。

反対討論

大石 舞

町民全体の生活を支える予算に

今予算における給食費の半額補助や地球温暖化対策への予算増等については、大いに評価する。それでも反対するのは、真に町民に寄り添った予算編成なのか確信が持てないからだ。来年度は国保税額や介護保険料等の保険料が値上げされるが、最も影響を受けるのは高齢者世帯である。しかし今予算では、老人福祉費の予算額は前年度より更に減額し、敬老祝金の支給すら縮小されようとした。このような町の姿勢に賛同はできない。子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らせるまちづくりを望む。教育費の予算も拡充すべきだ。財源は基金を活用すれば、給食費の全額無償化もできたのではないか。妊婦タクシー制度や障がい者へのタクシー利用助成の拡充、社会福祉協議会の移送サービスに関わる支援の拡充など、更なる町民福祉施策の充実を求める。

賛成討論

黒岩陣太郎

おおいに期待できる予算編成

一般会計では歳入歳出63億5000万円を計上し令和5年度当初予算比との比較では4億円の増額、率にして6.7%の増である。来年度の予算組は、歳入に関しては、基幹となる町税のうち町民税個人分はコロナ禍の影響が徐々に緩和され、回復傾向にあることが受け取れる。歳出に関しては、経営戦略に掲げた施策・事業の継続性に重点が置かれ「みんなでつなぐ大井の未来」を実践するための経費が計上されていることが良くわかる。重点施策である「前期基本計画」における「大井町戦略事業」として「協働プロジェクトの推進」「持続可能な生活環境の整備」「教育・子育て環境の充実」「地域特性を生かした産業の創出と魅力の発信」などの行政運営に大いに期待が出来る内容が反映されており、予算は適正に編成されている。

支給対象から77歳を除外する
「敬老祝金給付条例の一部改正案」を
否決

条 例

大井町敬老祝金給付条例の一部を改正する条例 (賛成なし)

例

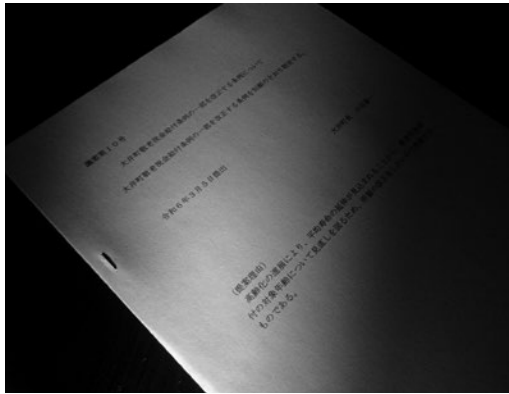
大井町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 (賛成全員)

*放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準が改正されたことに伴い、所要の改正を行なうもの

問 安全計画と業務継続計画の策定は来年度でよいか。

答 両計画については4月1日に向けて策定している。

問 計画の周知は。答 対象となる職員や保護者に対して書面等でお知らせする。



大井町敬老祝金給付条例の一部を改正する条例については、大石舞議員、重田有紀議員、山崎真弘議員、岡田幸二議員の反対討論がありました。ここでは、1名の討論を掲載します。

反対討論

重田 有紀

社会に貢献されてきた方々に引き続き敬意を表すべき

この条例には、本町にお住いの高齢者に対し、健康と長寿を祝福し、敬老祝金の給付を行い、住民福祉の向上に寄与することを目的とすると示されている。人生100年時代と言われる今、77歳という年齢は、長寿にも値せず、祝福されるものでもないということなのか。質疑の中で、減額された財源は社会福祉協議会の移送サービス補助へ活用するとの答弁があったが、外出支援事業に、この減額分をもって充てるなどということは到底納得できず、いずれも高齢者福祉施策には重要で、天秤にかけてどちらかを選ぶようなことは許されない。この改正案により町民のささやかな幸せをも奪ってしまうかもしれない。77年という長きにわたり、社会に貢献されてきた方々に対し、引き続き敬意を表することは当然であると考え、本案に反対する。

問 なぜ、今回支給対象の見直しを行うのか。

答 本事業を含めた高齢者福祉施策の方向は、敬老のつどいや交通手段への対応等を通

*高齢化の進展により、平均寿命の延伸が見込まれることから、敬老祝金の支給対象年齢から77歳を除外するもの

問 町としての高齢者の定義は。

答 65歳である。

問 令和6年度の77歳の予定支給対象者は303人で、10年前のおよそ2倍となるため。

答 町民への配慮はないのか。

問 敬老祝金を楽しみに行っている声もある。町民への配慮はないのか。

答 高齢化がますます進んでおり、町としてもどこかの段階で見直す必要がある。

大井町介護保険条例の一部を改正する条例 (賛成10反対2)

じて、外出の機会や生きがいを増やすことが重要と考えている。今回の見直しは、総合的に考えた結果である。

*第9期介護保険事業計画期間における介護保険料の見直しに対応するため所要の改正をするもの

問 介護保険料率を15段階にした理由は。

答 より所得に応じた負担を頂くためである。

問 低所得者段階の一部で負担が増えているが。

答 13段階までは、国が示した保険料率と同じである。

問 現在、遺族年金を受け取っている方は、今回の改正による金額が基となるのか。

答 改正後の補償基礎額により行なわれる。

大井町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例 (賛成全員)

*非常勤消防団員等に係る損害賠償の基準を定める政令の一部改正に伴い、所要の改正をするもの

補正予算

一般会計(第9号)
(賛成全員)

*歳入歳出ともに年度末における事業費の確定及び確定見込みによる執行残等の計上によるもの

問 保育対策総合支援事業費補助金92万4000円の内訳は。
答 おもちゃの滅菌器導入等のための補助金である。

問 有害鳥獣被害防止事業補助金を200万円減額した理由は。
答 有害鳥獣の捕獲数が予定より減少したため。

問 おおいゆめの里づくり推進事業費を30万2000円増額した理由は。

答 桜の開花が予定よりも早く、臨時駐車場を8日早くに開場したことによる警備員の追加である。

人事

大井町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求めること
(賛成全員)

*任期満了に伴い、再度選任したく議会の同意を求めるもの

武井 孝市
(再任 根岸上)

大井町金田財産区管理会の財産区管理委員の選任について同意を求めること
(賛成全員)

*任期満了に伴い、後任を選任したく議会の同意を求めるもの

中根 和夫 (河原)

金子 孝史 (新宿)

石岡 泰弘 (根岸上)

西山 茂明 (根岸下)

後藤 忠雄 (馬場)

飯倉 清一 (金手)

小島 孝 (金手)

大井町西大井財産区管理会の財産区管理委員の選任について同意を求めること
(賛成全員)

*任期満了に伴い、後任を選任したく議会の同意を求めるもの

柳川 征治

熊澤 博之

田村 俊二

鍵和田 稔

岡部 長

植松 清治

関 二郎

工事請負契約の変更

工事請負契約の締結について(道路改良工事・町道501号線(ゼロ債務))
(賛成全員)

問 予定価格の67・8%での入札となったが、低入札価格調査にて精査した結果の提案なのか。
答 担当課を中心に設計を含めて低入札価格調査後、指名委員会と同じメンバーで低入札調査会議で決定したものととなる。

大井町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正案を可決

本提案は、議長による諮問に端を発するものですが、議会運営員会において昨年からの度重なる検討を進めてまいりました。その結果、議員のなり手不足が課題となるなか、議員の職責を全うし、議会への住民の信頼の確保を図る観点から、政治倫理規程の制定と併せて、議員報酬に関する決まりをつくるべきとし、提出されたものです。その内容は、議員が議会の会議等に、自己都合、疾病その他事由により長期間出席しない場合、当該期間が90日を超えるものを段階的に減額することとしております。具体的には、90日を超え180日以下の場合20%を、180日を超え1年以下の場合50%を、1年を超える場合は、全てを減額するものとなりました。

議会では、今後とも課題に対する調査・検討を進め、不断の改革に取り組んでまいります。

第1回定例会・審議議案と結果

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対
田村俊二議長は、採決に加わりません。

臨時会・ 定例会の 別	議案 番号	議案名	議員名（議席順）と審議結果											審議 結果				
			大石 舞	黒岩 陣太郎	重田 有紀	和田 紀昭	山崎 真弘	岡田 幸二	鈴木 磯美	田中 正彦	牧野 一仁	清水 亜樹	伊藤 奈穂子		清水 豊司			
第1回定例会	5	大井町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	6	大井町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	7	大井町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	8	大井町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	9	大井町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	10	大井町敬老祝金給付条例の一部を改正する条例について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
	11	大井町介護保険条例の一部を改正する条例について	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	12	大井町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	13	大井町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	14	大井町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	15	大井町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	16	大井町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	17	大井町水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	18	大井町水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	19	大井町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	20	大井町下水道条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	21	大井町道の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	22	令和5年度大井町一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	23	令和5年度大井町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	24	令和5年度大井町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	25	令和5年度大井町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	26	令和5年度大井町水道事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	27	令和5年度大井町公共下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	28	大井町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	29	大井町金田財産区管理会の財産区管理委員の選任について同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	30	大井町西大井財産区管理会の財産区管理委員の選任について同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	31	令和6年度大井町一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	32	令和6年度大井町国民健康保険特別会計予算	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	33	令和6年度大井町後期高齢者医療特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	34	令和6年度大井町介護保険特別会計予算	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	35	令和6年度大井町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	36	令和6年度大井町公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	37	工事請負契約の締結について（道路改良工事・町道501号線（ゼロ債務））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	38	大井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	39	大井町介護保険高額サービス費貸付基金条例を廃止する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	40	令和5年度大井町一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	41	令和6年度大井町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

*議案第4号は定例会前に町長より取り下げの申し出があったため、欠番となっています。

第1回臨時会

1月18日

会議内容	件数
条例	1件
補正予算	1件
契約変更	1件

条例

大井町手数料条例の一部を改正する条例について（賛成10 反対1）

*地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正により、新たに開始される戸籍電子証明書等の交付に係る手数料の額を定めるもの

問 戸籍法の一部改正に伴うシステムの改修費用は。

答 令和5年1月の補正予算で450万円計上し、スキヤン機器と併せて6月に整備済である。

問 本籍地以外でも戸籍を取得できることとなるが、相続などで出生からの戸籍が必要という場合にも、広域対応が可能となるのか。
答 改製原戸籍も可能となる。

問 請求できる者は限定されるのか。
答 本人と配偶者等であり、第3者請求はできない。

補正予算

一般会計補正予算（第8号）

（賛成全員）

*物価高騰対策支援事業費における住民税均

等割のみの課税世帯分及び低所得の子育て世帯分等に係る経費を計上するもの

問 対象となる住民税均等割のみ課税世帯とは、所得割が非課税ということか。
答 そのとおりで、約330世帯が対象となる。

問 対象者へは通知が来るのか。
答 町からの通知をもとに申請してもらうことになる。

工事請負契約の変更

工事請負契約の変更について（道路改良工事・町道501号線）

（賛成全員）

*工事内容の変更に伴い、令和5年第2回定例会（議案第31号）により議決を得た契約金

額を変更するもの

問 工事の変更内容は。
答 当初22mのガードレールを設置予定で、それ自体の変更はない。並行する508号線との境に沿って2m以上の高低差となると道路施工基準によりガードレールの設置が必要となる。現在は1・7m程度であるが、町として危険と判断し、新たに21mのガードレールを設置することとした。



工事が進む

町道501号線

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対 欠は欠席
田村俊二議長は、採決に加わりません。

定例会・臨時会の別	議案番号	議案名	議員名（議席順）と審議結果											審議結果				
			大石舞	黒岩陣太郎	重田有紀	和田紀昭	山崎真弘	岡田幸二	鈴木磯美	田中正彦	牧野一仁	清水亜樹	伊藤奈穂子		清水豊司			
第1回臨時会	1	大井町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	2	令和5年度大井町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	3	工事請負契約の変更について（道路改良工事・町道501号線）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

災害時医療救護体制の

整備について

答 関係機関との連携強化に努める



やまさき
山崎 真弘 議員

問 災害時における妊産婦・乳幼児支援の本町の考えは。

町長 町では災害備蓄として、乳幼児に対して液体ミルク・哺乳瓶を備蓄している。日頃から災害時に必要な日用品を備えておくことも重要であり、今後機会を捉えて必要な物品の備蓄について呼びかけていく。

問 災害拠点病院と本町の連携は。

町長 県西2市8町には災害拠点病院として足柄上病院と小田原市

立病院が指定されており、町民の方が災害時に迅速かつ適切な医療が受けられるように関係機関との連携強化に努めている。

問 災害時の口腔ケアについての本町の考えは。

町長 災害時、高齢者は特に口腔ケアを行えないことで、誤嚥性肺炎となる可能性が高くなり、災害関連死につながりやすくなる。有事における口腔ケアの重要性を考慮すると歯科医師会との

協力関係は不可欠であり、これまで以上に有事に備えた関わりを強化していく必要がある。

問 口腔ケア用品の災害備蓄品としての考えは。

課長 口腔ケア用品も日々進化しており、今後、町としても備蓄品としてどのような物が良いかを研究していく。



大井町防災備蓄倉庫

住宅の耐震化を進めるため

負担なく診断を

答 大事なことであり、

前向きに検討する



しみず
清水 亜樹 議員

問 木造住宅の耐震化の状況と取組みは。

町長 現在、86%の住宅が耐震性ありと判断され、令和13年度までには95%に引き上げた

問 費用的に改修工事が難しい方もいる。命を守る方法として、耐震シェルター設置が有効だが、補助をする考えは。

町長 まず診断することとは大事なことであり、前向きに検討する。

問 耐震化の改修をする入口として診断が必要となる。診断を対象者の負担なく実施していく考えは。

町長 どういう方法が良いのか考え、必要性を感じる中で安全性を優先した考え方を取り入れていきたい。

【子ども達と地域の関わりについて】

問 現状の中で、子ども達が家庭や学校以外の大人と関わる切迫がある。子ども達と地域の関わりについての見解は。

教育長 大変重要であると認識している。様々な団体が子ども達と関わっていることに感謝している。

問 令和6年度から、中学生の地域ふれあい活動が実施されないようだが。

課長 湘光中ボランティアの活動へ移行すると聞いている。



倒壊家屋からの救助(能登半島地震)
(神奈川県HPから引用)

つなごう！大井未来計画

第2次実施計画の推進は

答 自治活動活性化など外部評価を尊重した施策を展開していく



おかだ こうじ 議員

問 現在の社会は高齢化・少子化・IT化がポイントと考えるが、人口構造の変化による自治会活動の停滞に対してどう取り組むのか。

課長 自治会加入率は、減少が続き、役員の担い手不足とともに自治会長の負担が増えていると認識している。地域の助け合い、相互扶助の大切さの認識度アップが必要と考える。特効薬的なものではなく、引き続き助成金や啓発活動を主とし自治会をバックアップしていく。



第6次総合計画

サポートの方法があれば検討していきたい。

問 高齢者のゴミ出しなどの要望に対しては、行き渡っておらず、改善の必要性があると考えるが。

課長 社会福祉協議会と連携しボランティアを養成しているが、現状、なり手が少ない。

問 「おいしい元気会」のように、ポイント制を取り入れ、有償とするのも一つの方法である。また、防災は関心が高い。避難訓練を通して地域の絆づくりができるかと考えるが。

課長 共助の面で有効と考える。効果的な周知方法を考えたい。

大規模災害発生時の

具体的な対応は

答 地震に強い安全な町づくりを推進する



くろいわ じゅんたろう 議員

問 住宅の耐震化率を令和13年度までに95%を目標にしているが今後、補助制度の新設と既存制度を見直す考えは。

課長 現行制度をうまく活用し耐震診断及び耐震改修工事を実施してもらい町の耐震化率向上につなげられるよう周知に力を入れていく。また、本制度の充実、拡充を含め見直しを検討していく。



大井町防災備蓄倉庫の備蓄品

町長 一人当たり1日に必要な飲料水は3リットルとすると6万リットル単純計算で3日分は確保できている。

問 町職員の定年延長後の対応について

町長 地方公務員の定年年齢の段階的な引き上げがあるが対応は。

町長 管理監督職は主幹級まで降任し常勤で勤務する方法や一旦退職し短時間勤務職員として勤務する方法、さらには60歳で退職する方法の3つの選択肢がある。

問 町職員の条例定数を見直す考えは。

町長 必要に応じて職員定数の見直しに取り組んでいく。

ひとり一台端末の更新時期は

答 令和7年度中には購入したい



重田 有紀 議員

問 更新計画と公表は。
課長 6年度早期に策定しガイドラインに添った方法で公表する。
問 学校に整備し1年が経過した遠隔授業用広角カメラ付スピーカは利活用に至っていないようだが、購入に際し教職員へヒアリングを行ったか。
教育長 既に設置し常時対応できる学校もある。今後はパソコン教室への設置等で活用する。機種選定は担当者、ICT支援員、業者と協議している。

問 中学校務パソコン更新は。
課長 来年度に39台全てを更新する。
問 保守契約は。
課長 5年間契約する。
問 来年度に教職員タブレット賃借料の計上がないか。
課長 契約更新せず、予備機含めた生徒用タブレットを教職員用に充てる。
問 スペックが落ち、授業運営に支障をきたすのでは。
課長 問題ないと認識している。



ICT端末は、えんぴつやノートと並ぶマストアイテム

加齢性難聴の補聴器購入への助成制度導入は

答 来年度より介護予防促進モデル事業として実施したい



大石 舞 議員

問 学校の出欠連絡に児童同様にアプリを導入しては。
教育長 校長会等で意見聴取し対応したい。
問 補聴器使用が健康長寿に及ぼす影響は。
町長 聴覚機能の低下を補い、フレイル予防の取組みと併せることで介護予防効果が促され、認知症の発生を抑制する可能性がある。
問 加齢性難聴の補聴器購入への、助成制度の導入は。
町長 来年度より実施したい。町内在住で、町の介護予防事業等に参加できる65歳以上の非課税世帯の方が対象。助成額は上限2万円を考えている。

問 財源は国の交付金を活用するのか。継続的に交付される見込みはあるのか。
課長 国の交付金を活用する。今後は不確かだが、来年度は交付される予定である。
問 万が一、交付がされなくても、制度は町で続けてほしい。今後、より幅広い方を対象に助成するよう検討は。
課長 まずは取組みを進め効果を確認したい。



介護予防への期待が高まる補聴器

【女性支援法について】
問 困難を抱える女性について、ここ数年間の相談件数は。
町長 連携先の小田原保健福祉事務所における延べ件数は、令和3年度142件、令和4年度131件、令和5年度現在125件である。

問 本町の女性支援の課題は。
町長 女性相談員を配置していないため、相談に行けない人がいる可能性がある。
課長 新法施行にあたり県との連携の拡充は。支援調整会議を通じ、連携を図る。

学校給食費完全無償化の目標は

答 社会情勢等も考慮し

任期満了までには実現したい

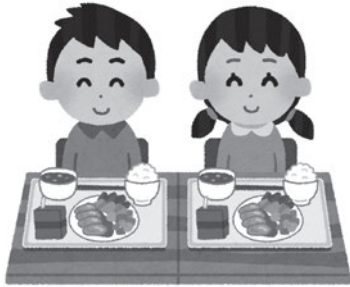


和田 紀昭 議員

問 学校給食費を段階的に軽減し、最終的に完全無償化を目指すのが、公約を掲げているが、いつまでに実行するのか。

町長 任期満了までに実行したいが、社会情勢や国等の動向も注視し、判断していきたい。

問 だれもが気軽に立ち寄れる多機能交流施設新設を公約で掲げているが、実行にむけての進捗状況は。



給食の無償化は？

【地域公共交通の展望について】

問 おおいゆめバスの現況と今後の展望は。

町長 2つのバス停を増設。令和6年度は、水曜日の終日運行を行い、今後、町内の施設を移動することで利用者が特典を得られるような仕組みを構築していく。

問 増便や減便の検討をバス会社と検討しているか。

課長 費用対効果も含めて連携を図っている。問 おおいゆめバスだけでなく松田町のAIオンデマンドバスの導入等、近隣市町との広域連携に取り組む考えは。

課長 利用者のニーズを勘案しながら広域連携も視野に入れ、十分検討した中で取り組んでいきたい。

認知症の予防として

eスポーツの活用推進は

答 先進事例など研究していく



伊藤奈穂子 議員

問 認知症対策としてVRを活用した体験型学習会の実施は。

課長 令和6年度は在宅医療介護連携支援センターの事務局が大井町になるので11月11日の介護の日に、展示会やVR体験ができればと考えている。

問 来年度以降も継続して体験型学習会を実施する考えは。

課長 今の時点で必ず行うとは言えないが、今後とも積極的に行うよう進めていきたい。

町長 医療や介護関係者と連携を図りながら研究していく。

【町営住宅について】

問 河原住宅に単身高齢者の入居は。

課長 単身高齢者の方も住めるよう検討しながら進めていく。

問 セーフティーネット住宅の促進を図るため、居住支援協議会の設置は。

課長 調査する。

【防災対策について】

問 県のデータ統合連携基盤の活用は。

町長 今後、共同利用調整会議を通じて有効性を見極めたい。

課長 県に確認し、できるなら活用したい。チェックリストを町ホームページに掲載するよう検討する。

問 ユマニチュードというケアの技法を学ぶ講習会の実施は。



ゲームを楽しみながら認知予防!

令和5年度 足柄上郡町村議会議長会 議員研修会報告



令和6年2月7日、足柄上合同庁舎にて足柄上郡町村議会議長会主催による議員研修会が開催され、講師に、明治大学政治経済学部教授である牛山久仁彦氏を迎え、「自治体議会の役割と課題」町村議会の活性化と住民参加」との演題で講演を拝聴した。議会の役割は行政監視機能と政策立案機能であると話され、議会改革の必要性について述べられた。住民の議会に対する関心を高めるため、住民ニーズを把握し、住民

的な、政策形成・提案ができる議会になることが望ましく、住民との関係をどう構築するかが大事な視点であるとのこと。議会審議の充実と、政策立案能力の強化が、議会改革の視点であると話された。また、教育の視点から若者の政治参加を促進するため、シチズンシップ教育への期待は大きいと実感した。

今回の研修を受け、住民と共に歩む議会を念頭におき、更なる議会改革に取り組みしていきたい。

【伊藤奈穂子】

令和5年度 足柄上郡町村議会議長会 議員交流研修会報告 ～ファシリテーション力向上研修～



令和6年1月11日、議会の活性化と議員間の交流をねらいとして「ファシリテーション力向上研修」が大井町役場3階会議室にて開催された。対象は、主に1期目から2期目までの議員とされ、本町からは、わたくし重田と、大石議員、黒岩議員、和田議員、山崎議員、岡田議員の6名が参加した。講師に一般社団法人地方公共団体政策支援機構上席研究員の長内紳悟氏が招聘され、第1部で講演、第2部はグループワークが行われた。

グループワークは、事前情報のない一枚の写真から、状況を想像したり、課題を見出したりするものであった。結果、グループの人数分の見解があることや、思いもよらない発想が飛び出すことを体験した。多様なニーズを掴むことが求められる行政や議会にとって、欠かすことのできない視点であり、大きな学びとなった。また、テーマを題材として上郡5町の議員間の交流を図ることができた。

【重田有紀】

道水路改良工事（町道501号線）



新年度予算に係る現地視察

議会では、2月26日（月）に新年度に予定されている工事箇所での現地視察を実施し、町担当者から説明を受けました。



生涯学習センター施設整備事業

町のこの人あの人

多くの方に選挙に行ってもらいたく出演



馬場地区
加藤美優さん

▼ 昨年度実施された「かながわ選挙啓発動画コンテスト」において、自身が出演された動画が最優秀賞となった馬場地区の加藤美優さんを紹介します。

▼ 加藤さんは、現在中央大学の4年生で大井町生まれ、湘光中学校では生徒会長を務められ、当議会が主催する中学生議会の初代議員も務められました。中学生議会は「質問を考えるのは大変でしたが、町長から直接回答を得られ貴重な体験をさせて頂きました。」と当

また、高校時代はチャリディング部で活躍され、県大会で優勝し全国大会で4位となったそうです。

▼ 今回選挙啓発動画に携わったきっかけや思いは？
● 友達から動画に出演して欲しいと誘われ、選挙について調べてみると一人当たり選挙の経費が500円以上もかかっていることがわかりました。また全国的に投票率が低いことや500円もする投票権を捨てるのはもったいないという思いから若い人達を含め、多くの方に投票に行っても

らいたく動画に出演することにしました。
▼ 若い人に選挙や政治に関心をもってもらうには？

● 若い人が候補者となったり、SNSを活用した発信、特に動画で政策や活動を発信することで興味をもってもらえると思います。

令和5年度かながわ選挙啓発動画コンテスト入賞作品



あなたの一票、タダじゃない

▼ 将来の希望や夢は？
● まずは就職活動を頑張る、将来は大好きな大井町で家庭を持ちたいと思います。田舎すぎず都会すぎず、自然が豊かで都会でできない遊びができる大井町が大好きです。

議会だよりへの意見募集

大井町議会では、町政及び議会の情報を皆様にお伝えするため、「議会だより」を年4回発行しております。より分かりやすい広報誌となるよう、町民の皆様の声をお聞かせください。応募は、電子メール (gikai@town.oi.kanagawa.jp)、郵送、持参、FAXのいずれかでお願います。様式は任意で結構です。

町政を知る良い機会です
議会傍聴にお越しく下さい！

第2回定例会開催
6月4日(火) 午前9時
問合せ先：議会事務局
☎ 85-5000 FAX 83-3936

編集後記

元且に発生した能登半島地震では、多くの方が犠牲となられ、4か月が経ちますが、未だ避難生活を送られている方もおります。議会では、今年最初の臨時会の冒頭に被害に遭われた方々に黙祷を捧げるとともに一日も早い復興を願いました。3月に開催された定例会では「予算審査特別委員会」を設置し、新年度予算案の慎重な審査を行いました。議決した予算が町民の皆さまの安心・安全な暮らしとなるよう引き続き事業の進捗や予算執行の状況を注視していきます。

広報広聴常任委員会

(広報分科会)

委員長 清水 亜樹
副委員長 大石 舞
委員 伊藤奈穂子
委員 岡田 幸二
委員 山崎 真弘
委員 和田 紀昭
委員 黒岩陣太郎